

入院体験記

氏名(匿名、イニシャル可) H.I 年齢: 77 性別: (男) / 女

病名(他の方の参考になるものでない)

入院日数: 3日 都道府県: OKINAWA 内服: 有 / 無(内容:)

入院中に行った食事や日数: 断食 8日間

体験記の SNS や外来、冊子等への掲載: (可) / 不可 ※掲載の際、実名は出しません。

入院のきっかけ、入院してからびっくりしたこと、大変だったこと、楽しかったこと、当院の食事、病気の症状の変化、体調、体重の変化などなど自由にお書きください。

また、当院に対してのご指摘などございましたら、遠慮せずお書きください。こちら励みになりますし、よりよい施設を目指していきたいので、どうぞ宜しくお願いします。入りきらなければ裏もお使いください。

断食のため、50年分の体験ですが腎臓病(当時26才)を1ヶ月間の断食で本来の健康の心身に切り替えた、そこで気づいた事は「かた自分か暴飲暴食 特に肉類 三昧の生活と酒、ビール、等々下ル申の生活、をしておける親に対する感謝心もまったく無く、身勝手なことを反省させられました。

断食の時、食を断っただけでなく、今おの悪習慣を断つための「断食断心」の心構えで、長い飯をぬいたわけでは、結果加齢を知らず、

心とは、①感謝、②懺悔、③下座、④奉仕⑤愛行、

生かす命と生かす命とで、当前を持つ心と行いと、実行してはじめて願いは成就するのだと、気づかされて頂戴した。この留米の人の心身を浄化し、ご本人ご家族、環境を明かす平和の元へ、愛護内科の役割は大かたです。去年2回、今回3回目です。身が軽く、心晴々です。又かへて来ます。A.H.

※ 心が1日取れたら、日本の「健康」が広がる。生かす命、御奉仕して頂きます。春年。

断夜中。唐天石の一語が二一昔園会の内容。
おれ計

とてもおもしろく、楽しんで断夜中旅行でござる

④ コックルを場を感心してござる。

・ 温冷浴の設け便行しやござる。

⑤ 心、身、生活環境、を以て魂を調和せしむ。